

非財務情報可視化研究会の開催について

令和4年2月1日

(令和7年12月26日更新)

1. 非財務情報を企業開示の枠組みの中で可視化することで、株主との意思疎通の手段の強化を図るべく、人的資本など非財務情報についての価値を評価する方法について検討を行い、企業経営の参考となる指針をまとめるため、「非財務情報可視化研究会」（以下「研究会」という。）を開催する。
2. 研究会の構成員は、次のとおりとする。座長は、必要があると認めるときは、構成員の追加又は関係者の出席を求めることができる。

座長	竹ヶ原 啓介	政策研究大学院大学教授
構成員	井口 譲二	ニッセイアセットマネジメント株式会社執行役員チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー
	上田 亮子	京都大学経営管理大学院客員教授
	古布 薫	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社運用本部日本株式運用部ヘッド・オブ・ESG
	阪 智香	関西学院大学商学部長・教授
	三瓶 裕喜	アストナリング・アドバイザー合同会社代表
	田中 弦	Unipos 株式会社代表取締役会長
	谷口 岩昭	中外製薬株式会社取締役上席執行役員 CFO
	照山 恵梨	マーサージャパン株式会社シニアプリンシパル
	平松 浩樹	富士通株式会社取締役執行役員専務 CHRO

(五十音順)

3. 研究会の庶務は、経済産業省、金融庁の協力を得て、内閣官房日本成長戦略本部事務局において処理する。
4. 前各項に定めるもののほか、研究会の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。